

1 協議会の目的

- 本格的な人口減少社会を迎え、市町村等の県内の水道事業者においては、水需要の減少に伴う経営環境の悪化への対応、老朽化する施設の更新、専門人材の確保・育成、頻発する大規模災害に強い体制づくりなどが共通の課題となっている。
- 持続可能な水道事業経営の確立に向けて、県及び全市町村等で構成する当該協議会において、広域化・広域連携の推進や将来的な水道のあり方等に関して検討を行い、方向性を見出す中で、できることから速やかに実行していく。

2 これまでの取組と今後の予定

年度(時期)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
協議会	<ul style="list-style-type: none"> ● 設立総会（10月） <ul style="list-style-type: none"> ・ 県、77市町村、3企業団が参画 ・ 「水道情報共有」と「人材確保・育成」の2つのワーキンググループを設置 ・ 長野市による「水道施設台帳整備」事例発表 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2回総会（5月28日） <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚生労働省調査結果公表 ・ 水道施設台帳「長野モデル」の決定 ● 第2回持続可能な水道経営の確立に向けたシンポジウム（7月7日） <ul style="list-style-type: none"> ・ 水道事業の現状の課題等の情報共有と、市町村の区域を超えた取組への気運の醸成を図るため、市町村長等を対象に開催【市町村長27名、代理出席者19名】 ● 第3回総会（12月27日） <ul style="list-style-type: none"> ・ 上田長野地域水道事業広域化研究会の取組報告 ・ ワーキンググループにおける活動報告 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第4回総会～ <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域化推進プランの策定にかかる進捗状況報告 ・ ワーキンググループの活動報告等 ・ 地域研究会の取組発表
ワーキンググループ	<p>① 水道情報共有ワーキンググループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の「水道標準プラットフォーム」や標準仕様を用いた台帳管理の最新システムを研究 ・ 国の標準仕様に準拠した水道施設台帳の統一フォーマット（長野モデル）案を作成 ・ 市町村の実情を踏まえた整備方法を検討 <p>② 人材確保・育成ワーキンググループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状を踏まえ課題を抽出 ・ 体制強化・効率化の観点から広域連携の基本的な考え方(方向性)を整理 ・ 検討すべき広域連携の取組を10項目に整理 ・ 水道業務のスマート化（AI等を活用した施設管理システム等）を研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野モデル案まとめ（4月～5月初旬） ・ 市町村への相談支援(随時) ・ 国等の取組を情報収集し、長野モデルを改訂(随時) ・ 情報共有の仕組みを研究(随時) ・ 台帳システムの共同化の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年9月の水道施設台帳の整備期限に向けて進捗状況の把握 <p>引き続き、研究等を実施</p>
地域研究会など	<p>①「水道事業連携研究会」設置 企業局、長野市、上田市、千曲市及び坂城町（関係団体）で構成</p> <p>②「水道用水供給事業連携研究会」設置 企業局、松本市、塩尻市及び山形村で構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係団体で「上田長野地域水道事業広域化研究会」を設置して広域化について具体的な研究を開始し、令和3年度中に「広域化の方向性報告（案）」の取りまとめを予定 ・ 松本地域において、厚生労働省が「水道基盤強化計画策定に向けた水道施設の最適配置計画の検討業務」を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度の「上田長野地域水道事業広域化研究会」の研究結果を踏まえて、取組を検討 ・ 令和3年度の厚生労働省の検討結果を踏まえて、取組を検討